

令和 7 年度 一条中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

(1)基本目標

豊かな心と健やかな体を持ち、自ら考え行動するなど、意欲を持って主体的・創造的に生きることができ、日本はもとより国際社会に貢献できる人間を育成する。

(2)具体的目標（具体的な児童生徒像など）

・自ら学び考える生徒（知） ・認め合い協力する生徒（徳） ・明るくたくましい生徒（体）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

テーマ「あたたかい学校・活力のある学校・地域と共に歩む学校」

生徒一人一人を目指す生徒像に近づけるためには、地域学校園の小中学校、家庭、地域が連携しながら、それぞれの力を発揮していくことが重要である。本校がその核としての役割を自覚し、関わる人々が誇りに思う学校となれるよう、目指す学校像（3つの柱）を掲げる。

- ・明るいあいさつにあふれ、互いに認め、励まし、称え合える、「あたたかい学校」
- ・地域社会や将来を見据え、子どもや教職員のよさが十分に活かされる、「活気のある学校」
- ・生徒や保護者、教職員が誇りに思い、地域に愛され信頼される、「地域と共に歩む学校」

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

(1)あたたかい学校

- ・心の教育、望ましい人間関係づくりを図る
- ・特別支援教育の視点を十分に生かす
- ・花と緑を大切にしたい潤いのある環境を整備する
- ・教職員の団結と健康管理に努める

(2)活力のある学校

- ・主体的に学習に取り組む態度を育成する
- ・体力・気力の向上と健康教育を推進する
- ・学びやすい、生活しやすい環境を整備する
- ・職員が働き甲斐のある職場づくりに努める

(3)地域と共に歩む学校

- ・地域をフィールドにした学習活動を進める
- ・地域に根差した SDGs を推進する
- ・地域の人材、資源を活用した教育を推進する
- ・学校運営協議会等との連携強化に努める

【一条地域学校園教育ビジョン】

基本をしっかり身に付け、地域に生きる子どもを育む一条地域学校園

4 教育課程編成の方針

Society5.0の到来を見据え、ユネスコスクールとしての自覚とSDGs（防災・平和・福祉等）の推進により、奉仕の精神と協力する態度、主体的に行動する力を育成できるよう、教育課程と指導体制を工夫する。

- (1)日本国憲法、教育基本法、学校教育法及び学習指導要領の関係指令、および県教育行政基本方針、市教育委員会管理運営規則、市教育スタンダードの示すところに従って編成する。
- (2)地域や学校の実態を踏まえ、生徒の心身の発達段階や特性を十分考慮しながら、人間として調和のとれた育成を目指して特色のある教育課程を編成する。
- (3)市の小中一貫教育、GIGA スクール、宇都宮学の趣旨を生かし、学校教育全般にわたるカリキュラムマネジメントを行い、適切な運用が図れるよう配慮して編成する。

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

(1)学校運営 ～学校と地域が連携した生徒のための学習、体験活動の推進～

- ・防災・平和・福祉を主なテーマに、国際社会、地域社会に目を向けたSDGsを推進する。
- ・保護者・地域の学校運営への参画や支援・協力の促進により信頼関係を深め、学校運営の改善や生徒の健全育成に取り組む。
- 休日の部活動指導の地域移行と新たなスポーツ・文化活動の推進策について推進する。
- ・教職員が一丸となって学業指導にあたり、業務の効率化と働き方改革を進める。

(2)学習指導 ～自ら取り組み、「わかった」「できた」を実感できる授業づくりの推進～

- ・生徒が主体的に学習に取り組むために学習評価を工夫・改善する。

- 9か年のカリキュラムマネジメントとその評価の展開により、学力の向上を図る。
 - ・習熟度学習・TT, ICT機器を生かし、主体的、対話的で深い学びのための授業改善を図る。
 - ・読書活動、新聞活用(NIE)等を充実し、広い視野と思考力・判断力・表現力を育成する。
- (3) 児童生徒指導 ～ともに成長できる集団づくりと自己指導能力の育成～
- ・自ら考え、判断し、責任を持って実行できる自己指導能力の育成・向上を図る。
 - 特別支援教育の視点を活かし、自己肯定感、自己有用感をはぐむ教育相談に努める。
 - ・共に課題に立ち向かい、互いに認め、励まし、称え合うことで、自他共に成長できる集団づくりを推進する。
 - ・困難を克服し失敗から立ち上がる力(レジリエンス)の育成に努める。
- (4) 健康(体力・保健・食・安全) ～強い体、折れない心、健康的な生活の育成に努める。
- 基礎体力の向上と持久力を養うための活動を工夫改善する。
 - ・カリキュラムマネジメントにより、健康、食育、安全に関する指導の充実を図る。
 - ・感染症対策や防災教育を通して、危機に対応できる能力の育成を図る。

6 自己評価 A1～A20は市共通評価指標 B1～は学校評価指標(小・中学校共通, 地域学校園共通を含む)

※「主な具体的な取組の方向性」には、A拡充 B継続 C縮小・廃止, を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所を下線を付ける。

第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
1- (1) 確かな学力を育む教育の推進	<p>A 1 生徒は、他者と協力したり、必要な情報を集めたりして考えるなど、主体的に学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 肯定的回答90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単位時間における授業のねらいの明確化と、個に応じた指導をすることで、見通しをもって主体的に学習に取り組めるよう工夫する。 ・多様な学び合いの場を設定することで、じっくり考え、学びを深められるよう工夫する。 	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒、教職員の回答は目標値を上回り、昨年度より上昇しているが、保護者の回答が目標値を下回っている。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の中で主体的な取組ができていると感じる生徒は多いが、授業で学んだことが身に付き、活用できることを確認する学習を進めることで、家庭学習を含め、授業以外の場でも主体的に学習できるよう支援する。
1- (2) 豊かな心を育む教育の推進	<p>A 2 生徒は、思いやりの心をもっている。</p> <p>【数値指標】 肯定的回答90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びにつながる、道徳の授業の実践やそれを生活と結びつけることで、生徒の道徳力を向上させる。 	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒、教職員、保護者、地域住民全ての回答で、肯定的回答が目標値を上回っている。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き道徳の授業を中心に、「自分事」というキーワードを意識した授業の充実を図る。また、学校行事や生活の中で、相手を思いやりたり認めたりするなどの、実践力につなげられるよう支援する。
	<p>A 3 生徒は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 肯定的回答 85%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の目指すべき将来を暫定的に計画させることで、その達成に向けてあきらめず努力する力を高める。 	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒、教職員、保護者全ての回答で、肯定的回答が目標値を上回っている。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級活動や学校行事等において目標を明確に設定し、目標に向かって粘り強く取り組めるよう支援する。 ・諸活動において、設定した目標に向かって努力している過程を認め、自己肯定感を持たせられるようにする。

<p>1- (3) 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進</p>	<p>A 4 生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 肯定的回答90%以上</p>	<p>・保健体育の授業において、段階的な指導の工夫と分かりやすい指導を工夫することで、生徒の興味関心を高める。</p>	<p>【達成状況】 ・生徒、教職員、保護者全ての回答で、肯定的回答が目標値を上回っている。 【次年度の方針】 ・保健体育科の授業の中で得た科学的根拠や知識を、実生活の中でもっと生かしていけるような手だてを講じる必要がある。</p>
<p>1- (4) 将来への希望と協働する力を育む教育の推進</p>	<p>A 5 生徒は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている。 【数値指標】 肯定的回答90%以上</p>	<p>・自分のよさや個性を理解し、自分の目指すべき将来を暫定的に計画させることで、その達成に向けてあきらめず努力する力を高める。</p>	<p>【達成状況】 ・生徒、教職員のどちらにおいても、肯定的回答が目標値を上回っている。 【次年度の方針】 ・授業や学校行事、その他諸活動において、目標の設定と振り返りを実施することで、自分のよさや個性を理解する機会を持たせるとともに、目標の達成に向け努力する姿勢をもたせる。</p>
<p>2- (1) グローバル社会に主体的に向き合い、郷土愛を醸成する教育の推進</p>	<p>A 6 生徒は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 肯定的回答80%以上</p>	<p>・外国語の授業や総合的な学習の時間などでの言語活動の充実を図る指導によってコミュニケーション能力を高める。 ・生徒が英語に慣れ親しむ機会を休み時間等を使用して設定する。</p>	<p>【達成状況】 ・目標値は少し下回っているものの、中学校の値を4ポイント上回っている。 【次年度の方針】 ・英語の授業以外でも ALT と過ごす時間を増やし、コミュニケーションの機会をより多く設ける。</p>
	<p>A 7 生徒は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 肯定的回答 85%以上</p>	<p>・総合的な学習の時間(郷土・宇都宮学)や地域ボランティアに参加することによって宇都宮のよさを多く体験・実感できるように工夫する。</p>	<p>【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は目標値を下回ったが、市内中学校と比較するとほぼ同程度であった。 【次年度の方針】 ・宇都宮学を中心に進めていくが、県内の他市町と比較し、良さを見つめさせる。</p>
<p>2- (2) 情報社会と科学技術の進展に対応した教育の推進</p>	<p>A 8 生徒は、デジタル機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 肯定的回答85%以上</p>	<p>・読書活動や各教科での ICT 機器の積極的な推進で、ICT 機器や図書等を学習に活用する力を高める。GIGA スクール構想が具現化できるよう、積極的にパソコンを活用する。</p>	<p>【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は目標値を下回ったが、昨年度より 1.1%向上している。 【次年度の方針】 ・教職員の意識も向上しており、授業での効果的な活用を一層進めていく。</p>
<p>2- (3) 持続可能な社会の実現に向けた担い手を育む教育の推進</p>	<p>A 9 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 肯定的回答 85%以上</p>	<p>・ボランティア活動や、NIE 活動などを通して現在直面している諸問題に関して前向きに考えていく力を育てる。</p>	<p>【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は目標値を上回ったが、昨年度と比較すると若干の低下が見られた。また教職員の回答は目標値を下回った。 【次年度の方針】 ・SDGs・ESD についての理解を深めるとともに、ボランティア活動との関連性を可視化し周知する取組を設定する。</p>
<p>3- (1) インクルーシブ教育システムの充実に向けた特別支援教育の推進</p>	<p>A 10 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 肯定的回答95%以上</p>	<p>・職員研修による指導力向上を進めるとともに校内特別支援小委員会を定期的を開催し迅速かつ効果的な支援を行う。</p>	<p>【達成状況】 ・教職員の肯定的回答が目標値を上回った。 【次年度の方針】 ・職員研修で教職員の資質能力を高めるとともに、生徒の情報を迅速に伝達し共有することで、より適切な対応を検討していく。(各機関や小中の連携を含む)</p>

<p>3-(2) いじめ・不登校対策の充実</p>	<p>A11 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 肯定的回答95%以上</p>	<p>・いじめゼロ集会や生徒会活動による啓発、道徳での計画的な学習、各種たよりでの周知などを行い、いじめは許されない行為であることをより多く実感できるようにする。</p>	<p>【達成状況】 ・生徒、保護者の回答で、肯定的回答が目標値を下回った。 【次年度の方針】 ・教育活動の様々な場面で、指導周知を行った。また、行政からの情報等も積極的に発信したが、いじめに関する課題は多様化しており、今後、その情報発信や啓発の方法について、さらに工夫が必要と考える。</p>
	<p>A12 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 肯定的回答95%以上</p>	<p>・教育相談や家庭訪問等を有効に活用しながら、家庭との連携を密にとり、問題があれば早期対応、早期解決をめざす。</p>	<p>【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は目標値を上回ったが、生徒、保護者の回答が下回った。 【次年度の方針】 ・生徒情報を全職員で共有し、家庭と連携しながら未然防止の充実を図る。 ・SC や ARS を活用し、不登校の改善や個別支援の充実（校内アドバンスルームの活用を含む）に努める。</p>
<p>3-(3) 外国人児童生徒等への適応支援の充実</p>	<p>A13 学校は、一人一人が大切にされ、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 肯定的回答95%以上</p>	<p>・教師自らあいさつや声掛けをし、よりよい人間関係を醸成するとともに、学級経営や教育相談を充実させ、「居がいい」のある学校づくりに努める。</p>	<p>【達成状況】 ・教職員、地域住民の肯定的回答は目標値を上回ったが、生徒、保護者の回答が下回った。 【次年度の方針】 ・一人一人に丁寧に声掛けをするとともに、自己有用感・自己肯定感が高まるよう互いに認め合う機会を意図的に設定する。</p>
<p>3-(4) 多様な教育的ニーズへの対応の強化</p>	<p>A14 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 肯定的回答90%以上</p>	<p>・前時の復習としての小テストを実施するなど、基礎・基本の定着を図る。 ・学習評価の工夫改善を行い、その内容を公開することで、生徒が目標を持って意欲的に学習に取り組む姿勢を育む。</p>	<p>【達成状況】 ・生徒、教職員の肯定回答率は目標値を上回っているが、保護者の回答は下回った。 【次年度の方針】 ・小テストや定期テスト、学力調査等で生徒の躓きを確認し、授業の工夫改善を図り、生徒が目標を持って主体的に学習に取り組めるよう支援する。</p>
<p>4-(1) 教職員の資質・能力の向上</p>	<p>A15 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 肯定的回答 95%以上</p>	<p>・教育目標及び学校経営の方針を全職員が意識し、全教育活動でそれが生かせるように活動しながら業務を進めるようにする。</p>	<p>【達成状況】 ・教職員の肯定的回答率が目標値を下回った。 【次年度の方針】 ・校務分掌・学年・教科などのチームを意識して業務に取り組める雰囲気づくりに努める。</p>
<p>4-(2) チーム力の向上</p>	<p>A16 勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 肯定的回答85%以上</p>	<p>・従来の業務内容をもう一度見直し、教員の業務内容の精選を行う。 ・部活動地域指導者を有効活用した部活動の充実を図る中で、教員の業務縮減を行う。</p>	<p>【達成状況】 ・教職員の肯定的回答率が目標値を下回った。 【次年度の方針】 ・業務のICT化と部活動地域展開をすすめることで業務の効率化に努める。</p>
<p>4-(3) 学校における働き方改革の推進</p>	<p>A17 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 肯定的回答 85%以上</p>	<p>・あいさつ運動や研修会の充実を図り、それらの活動を発信し周知する。</p>	<p>【達成状況】 ・全ての肯定的回答が目標値を上回っており、目標は達成していると考えられる。 【次年度の方針】 ・活動や発信をさらに充実させ、小・中学校の足並みをそろえて取り組んでいく。</p>
<p>5-(1) 全市的な学校運営・教育活動の充実</p>			

<p>5- (2) 主体性と独自性を生かした学校経営の推進</p> <p>5- (3) 地域と連携・協働した学校づくりの推進</p>	<p>A18 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。</p> <p>【数値指標】 肯定的回答85%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会、三者懇談、オープンスクール等を活用し、保護者との連携を図る。 ・地域推進委員と連携し、地域協議会活動の有効活用や学校支援の取り組みを推進する。また、PTA との連携を深め、学校運営の充実を図る。 	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての肯定的回答が目標値を上回っており、目標は達成していると考えられる。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域推進員と連携し、地域協議会の活動や学校支援の取組を継続していく。また、PTAとの連携も継続し、学校経営の充実をさらに図っていく。
<p>6- (1) 安全で快適な学校施設整備の推進</p>	<p>A19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。</p> <p>【数値指標】 肯定的回答 95%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練や防災訓練を行うことで安全に関する知識を高め、安全点検を毎月確実にを行い、修繕個所を早めに修繕する。 	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員、地域住民の回答は 100%であったが、保護者の回答は94.0%と昨年度より 1.7%低い結果となった。そのため、保護者の回答は目標値を達成することができなかった。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の内容をさらに精選し、継続していく。
<p>6- (2) 学校のデジタル化推進</p>	<p>A20 コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができています。</p> <p>【数値指標】 肯定的回答90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器の整備を積極的に行い、効率的に利用できるようにする。 ・校内研修を行い、ソフトの活用促進を図る。 	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肯定的回答が目標値を上回っており、目標は達成していると考えられる。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より一層の活用ができるよう、校内研修等の機会をつくっていく。
<p>小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等</p>	<p>B1 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。</p> <p>【数値指標】 肯定的回答 90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動の推進などで時と場に応じた言葉遣いやあいさつができるようにする。 	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒、保護者の回答で、肯定的回答が目標値を上回っている。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動などの場面では積極的な様子が見られるが、校内外（相互のあいさつや来客・地域の方へのあいさつ等）では課題があるため、一層推進していく。
	<p>B2 生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。</p> <p>【数値指標】 肯定的回答95%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会を中心とした組織により、校則やマナーについて見直しを行うなど、生徒自身が自分事として捉えながら規範意識を高める取組を支援する。 	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の回答で、肯定的回答が目標値を上回っている。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員、保護者の回答で、目標値を下回った。登下校時の交通ルール・マナーの遵守状況や SNS 等との関わり方等、課題はまだ多く、多岐にわたっていると認識し、手だてを講じていく必要がある。
	<p>B3 生徒は、自ら考え行動するなど、意欲をもって主体的に学校生活に取り組んでいる。</p> <p>【数値目標】 肯定的回答 85%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・より良い学校生活が遅れるよう、学校行事、生徒会活動、学級活動等に主体的に取り組む。 	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての肯定的回答が目標値を上回り、目標は達成していると考えられる。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会、中央委員会等で生徒達が主体的に考える機会をさらに増やしていく。またそれらの発信を工夫していく。
	<p>B4 生徒はユネスコスクール、JRC加盟校として、ボランティア活動などに積極的に参加している。</p> <p>【数値目標】 肯定的回答 85%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各小学校や地区主催のボランティア活動等に、積極的に参加する。 ・JRC委員会を中心に、依頼された係活動に積極的に参加する。 	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値を大きく下回っているが、積極的にボランティアに参加する姿が多く見られる。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユネスコスクールとしての認知度を上げ、ボランティア活動や国際理解活動につなげる。

	<p>B5 教職員は挨拶や対応が丁寧で誠実である。</p> <p>【数値目標】 肯定的回答95%以上</p>	<p>・誰に対しても気持ちのよいあいさつを教職員自ら率先して行い、誠実に接するよう努める。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・教職員、保護者、地域住民の肯定的回答は目標値を上回った。生徒の肯定的回答はわずかに下回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・今後も、生徒・来校者に対して模範となる言動を徹底する。</p>
	<p>B6 学校は「強い体、折れない心、健康的な生活習慣」の育成に取り組んでいる。</p> <p>【数値目標】 肯定的回答90%以上</p>	<p>・生徒の体力向上を目指した活動の工夫をする。</p> <p>・保健日よりや生活習慣チェックシートで、生徒に健康的な生活習慣を意識付ける。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・生徒、教職員、地域住民の肯定的回答は目標値を上回ったが、保護者の肯定的回答は目標値を下回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・今後も体力やレジリエンス（回復力）の向上につながる活動を小学校とも連携しながら工夫して設ける。</p> <p>・たよりなどを通し、保護者に学校での取組を知らせる。</p>

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・A2～A5の生徒についての項目は、生徒・教職員・保護者・地域住民ともに目標値を超えている。生徒たちも自己肯定感が高く、日頃の様子から、保護者・地域の方からもその努力が認められている。
- ・A8の生徒の肯定的回答が80%に達していない。教職員の肯定的回答が96.8%であることから、授業や連絡事項の伝達でのデジタル機器の利用はされていると思われる。今後は、家庭学習での利用の促進や図書利用とのバランスも考えていきたい。
- OA17の質問には、生徒・教職員・保護者・地域住民ともに目標値を上回っている。また、A18についても同じような結果が出ている。地域学校園での小中一貫教育に関する職員研修をはじめ、部活動の地域展開や地域協議会など地域が一体となり子供たちを育てていこうとする風土の表れであると思われる。
- ・B4は、生徒の肯定的回答が低い結果となった。参加する生徒たちは区内でのボランティアへの参加に積極的であり、様々なボランティアに参加している。また、受け入れていただいた団体からも好評であり、今後もぜひお願いしたい旨の感想をいただいている。今後は、より多くの生徒が参加できるように、募集の周知や実施後の報告など、広報活動の充実させていきたい。

7 学校関係者評価

- ・どの項目についても、肯定的回答が多い。この結果に満足することなく、今後も、子供たちに必要なことは何かを考え実践しながら、地域に認めていただける学校づくりを心掛けていく必要がある。
- ・A16について、働き方改革を進めることで、先生方が子供たちと接する時間を確保してほしい。
- ・B3について、生徒たちが自ら何ができるか、何をすべきかを考えることが大切だろう。大人たちが提示するのではなく、子供たちが自分で考えて行動することが大切だ。
- ・B4について、今後も「国際社会に貢献できる」人材の育成を目指してほしい。その第一歩として、まずは、地域貢献活動に取り組むことから始めるとよいと思う。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・アンケート結果をみると、目標値を下回ったものが散見される。今年度の生徒たちの様子を振り返ると熱心な取り組みも多くみられるので、今後はそれらの情報の発信方法を工夫していきたい。
- 小中一貫教育では、小中合同あいさつや乗り入れ授業だけでなく、年間予定の中に推進委員会・分科会・全体研修会を位置付け小中が連携して一条地域学校園の子供たちを育てるための活動をおこなった。そのことがA17の肯定的回答の高さにつながったと思われる。次年度も、小中の連携を強化していきたい。
- ・「宇都宮学」等で宇都宮の歴史や文化・産業などの郷土の良さを理解する学習に取り組んでいるが「宇都宮の良さを知っている」に肯定的回答をした生徒が前年度と比較して5ポイント減少している。宇都宮の魅力を再認識することから、宇都宮の未来を考えることにつながられるように、より具体的な指導に努めたい。